

第22回火山噴火予知連絡会議事録

日 時：昭和56年5月12日 13時30分－16時05分

場 所：気象庁第1会議室

出席者：下鶴，岡田（北大），高木，行武，青木，久保寺，加茂，太田，小坂，檜崎，飯田（文部省），
小野，春山，茂木，高橋，末広，山川，田（気象研），河村

オブザーバー：小宮（国土庁），広瀬（文部省），熊谷（防災センター），田中（気象研），金
沢（気象庁）

庶 務：清水，吉留，永福，宇平

1. 新委員の紹介（末広委員）

本連絡会の新しい委員として東京工業大学小坂丈予教授を迎えることになった。

委員異動 気象庁地震課長 渡辺偉夫から山川宜男
気象研究所長 小林寿太郎から松本誠一

2. 会長選出

下鶴委員を全員一致会長に選出

3. 会長挨拶

4. 気象庁長官挨拶

5. 第21回連絡会議事録(案)は異議なく承認された。

6. 最近の火山活動

6.1 桜 島

清水（気象庁）：活動経過並びに震源決定結果報告

加茂委員：① 爆発回数推移，地震発生状況説明

② 集中観測結果の概要報告

（活動は終息に向っているとはいえず，山頂噴火と降灰は続く。大噴火の兆候はみられない）

6.2 トカラ列島群発地震

加茂委員：3月中旬悪石島付近で発生した群発地震について

清水（気象庁）：同 上

6.3 有珠山

清水（気象庁）：地震回数推移報告

岡田委員代理：地震発生状況，地殻変動状況等について

（地震活動，地殻変動とも減退を続けており，山頂噴火も考えられないが，現状はしいて終息宣言を出すほどではない）

久保寺委員：北大の報告書に噴火災害日誌として，活動がまだ終息しない段階で「予知連続一見解による安全宣言でる」と記載されていることについて発言

・この件につき事情調査を行うこととなった。

6.4 樽前山

清水（気象庁）： 活動経過

岡田委員代理： 震源分布、辺長変化等について

（火山活動度はゆるやかな上昇過程にあると思われるので今後も引き続き監視を要する）

6.5 浅間山

清水（気象庁）： 活動経過報告

下鶴会長： 地震活動解析について

田委員代理： 浅間山の噴煙資料について説明

6.6 霧島山

清水（気象庁）： 硫黄谷温泉の噴気異常について

6.7 阿蘇山

久保寺委員： 地震・微動の発生推移等について

6.8 雲仙岳

太田委員： 活動状況報告

6.9 海底火山

茂木委員： 活動状況報告

6.10 硫黄島

茂木委員： 硫黄島の総合調査について

行武，小野，小坂委員： 硫黄島の海面下の構造について

6.11 支笏湖

小野委員： 地下構造探査結果について報告

6.12 その他

① 提出資料について

清水（気象庁）： 伊豆大島三原山火口地形図（永田前会長作成コピー）について説明

高木委員： 吾妻火山集中総合観測報告

小野委員： 桜島火山地質図について説明

下鶴会長： Volcano Surveillance in Japan について説明

清水（気象庁）： 火山機動観測報告第16号（恐山，御岳山）及び九州地域機動観測実施報告第1号（鶴見岳，諏訪之瀬島）について説明

② 御岳山

檜崎委員： 今年夏火口周辺を除き規制を緩和する。雪解け後，柵を設け監視人をおく。
またガス観測施設を設ける。

小坂委員： 雪解け後，ガス観測を実施したい。

青木委員： 地震記録に微動は認められないので，火山活動は前回と同じ見解でよいと思われる。

7. 協議事項

7.1 永田前会長を本連絡会名誉顧問とすることについて

- ・下鶴会長から発議
- ・運営要綱には特に定めていないが、同要綱4-(7)により賛成が得られれば、議事録に記録をとどめる方法で処理できる。
- ・全員賛成

7.2 神沼幹事について

下鶴会長から神沼氏幹事就任のいきさつの説明と永田前会長の辞任を機に神沼氏の幹事を解くことについて提案があり、了承された。この旨議事録に記録をとどめる（庶務）

7.3 次回連絡会開催期日

10月16日（金）を予定

7.4 会長代行について

会長指名により決定する。

〔 17:00～18:00 記者会見 気象庁記者室 〕